

ファミリーマート 個人投資家様向け会社説明会 質疑応答要旨

直近開催分の個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答のテキストです。
内容については、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正しています。

Q: 時間営業の実験の状況について。

A: 第1次実験は6月より東京・秋田・長崎の一部地域の計24店舗で実施したが、うち20店舗は11月末まで継続する。また、全加盟店を対象としたアンケートにおいて約半数が時短営業の検討を希望され、全国で説明会を開催したところ約620店舗において第2次時短営業実験を今月より開始することになった。12月以降、実験結果の検証し、加盟者とも充分協議のうえ、今後の方向性を定めていく。

Q: フードロスへの取組状況について。

A: 土用の丑の日のうなぎの結果については、廃棄が約8割減少し、加盟店利益は約7割増加した。
なお、本部としても販売促進費や廃棄ロス支援金等の経費削減により、本部利益は前年並みを確保できたことから、土用の丑の日での完全予約制推奨によるフードロス削減の取り組みは一定の成果があったと考える。中食ロングライフ化と併せて、継続強化していく。

Q: ユニー株式売却後の同社を含む PPIH 社との関係について。

A: ユニー株式会社を含む PPIH(=株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス)グループとは業務提携関係にあり、ビジネス面での協力(商品・金融・海外)など、協力できる部分は引き続き連携・協力していく。

以上